

顔の見える木材での快適空間づくり事業

【テーマ】 高断熱建築物の遮熱性を活かす木材張り外壁の普及と常設展示施設による情報発信

背景と目的

【背景】

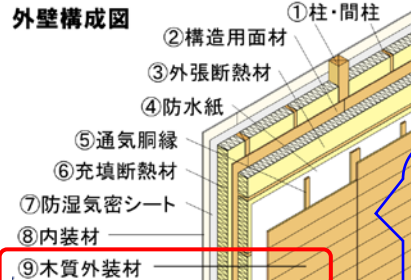
・2020年、高断熱建築物の遮熱性を活かし、外装に用いる木材の厚さ、張り方に高い自由度を有する防火構造外壁の国土交通大臣認定が得られた。
 ・これにより、木材張り防火構造外壁の施工合理化・費用低減、火災保険料の低減、見えるところに木材が使える、等のメリットが得られることになった。

【目的】

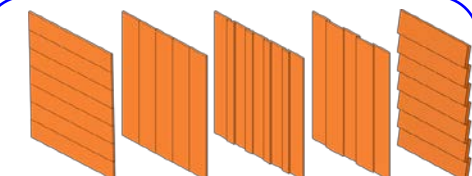
・高断熱建築物を手がける建築事業者が木材張り防火構造外壁の仕様、施工法、メリットを周知し、建築物の外装への木材利用を促進する。

対象とするA材丸太を原材料とする付加価値の高い木材製品

寒冷地建築物の標準的な高断熱外壁構造



◆自由度が高く、良質な街並み景観を可能とする木材張り外壁
 ◆省令準耐火構造の適用により、火災保険料がほぼ半減



横張り 縦張り 目打ち張り 大和張り よろい張り

大臣認定*により使用可能に
 *:PC030BE-3884、PC030BE-3890
 他、多様な仕様

事業実施主体

上川地域水平連携協議会

実施体制・連携グループ

◆実施主体: 上川地域水平連携協議会

林業・木材産業関係者と住宅産業関係者が連携してドマツ利用を推進

◇連携機関①: 道総研林産試験場・道総研北方建築総合研究所
 木板張り外壁の仕様、防火性能、施工に関する指導

◇連携機関②: (一社)北海道ビルダーズ協会(加盟事業者:約250社)
 建築物の設計・施工サイドからの助言および加盟企業に対する普及

◇連携機関③: (一社)林産技術普及協会(加盟事業者:約150社)
 北海道内木材事業者に対する普及

◇連携機関④: (株)ハギヤ; 展示会実施支援

事業内容(利用拡大に向けた具体的な実施項目)

①事業検討会の開催

②木製品常設展示施設(木と暮らしの情報館*; 旭川市)での展示・広報
 (*: 道総研施設、約6,000名の来場者(2019年度))

・木材張り防火構造外壁の構造モデルの展示
 ・技術資料の配布
 ・常駐技術者による説明

③技術情報誌等による広報および技術支援

・木材関連情報誌での技術紹介
 ・木材および住宅建築事業者への技術紹介

④展示会等での情報提供

・技術資料の配布
 ・展示会、説明向け技術資料の作成

⑤展示会、説明向け技術資料の作成

・外壁構造の認定仕様
 ・木材の仕様、施工方法
 ・木材外壁建築物事例集



木と暮らしの情報館
 密集、混雑を避けた展示、広報、技術支援

スケジュール

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

第1回検討会
 ← 技術資料作成 →
 構造モデル製作

常設館展示 →(1月まで。引き続き、展示予定)
 情報誌・展示会等による広報・技術支援 →
 第2回検討会